

福島みずほ再選、吉田忠智及ばず 憲法改悪、暮らし破壊を許さ ず、国民とともに闘います！

社民党は、参院選挙を全力をあげて闘いましたが、福島みずほ再選、吉田忠智及ばずという結果となりました。ちから及ばなかった点を厳しく反省するとともに、与えて頂いた議席を最大限に活用して、国民の願いに応える政治を実現するためにさらに全力を尽くす決意です。

■憲法の改悪、戦争する国づくりを許さず、護憲と平和をつらぬきます

改憲勢力が3分の2議席を得たことによって、平和国家の行く末があやぶまれています。戦争法に基づく戦争準備を厳しく監視し、発動させない取り組みをさらに強めます。

日本国憲法の「平和主義」「国民主権」「基本的人権の尊重」の原則を遵守し、憲法理念の具体化のための法整備や政策提起をすすめ、「平和創造基本法」や「非核三原則」の法制化に引き続き取り組みます。

社民党は、「軍事力による抑止」という安倍政権の安全保障ではなく、北東アジア非核地帯と総合安全保障機構の創設をめざし、貧困を無くす社会開発、人権、女性支援、環境保全などに軸足を置いた「人間の安全保障」を重視していきます。



福島みずほ
参議院議員

■アベノミクスの破綻は明らか、暮らしと雇用の再建をめざします

与党が勝利したとはいえ、アベノミクスによる異次元金融緩和と財政バラマキ政策の破綻は明らかです。株や為替の乱高下で経済を混乱させ、財政危機をいっそう深刻化させています。实体经济・国民の暮らしを元気にすることに完全に失敗し、格差と貧困をさらに押し広げようとしています。

社民党は、日本のような成熟経済が再び元気になる唯一の道＝「命の経済」（医療・子育てや教育・福祉の充実）と「みどりの経済」（脱原発と自然エネルギー・農林水産などの活性化）をめざします。

1 議席減、比例票と得票率は増

国民とともに地域から党の再建をめざします

社民党の選挙結果

比例票合計

1,535,311 票 (前回比 2.7%増)

福島みずほ 254,512 票

吉田ただとも 153,084 票

政党名 1,100,447 票

選挙区

増山れな (東京) 93,677 票 (1.5%)

森ひでお (神奈川) 76,424 票 (1.9%)

平山良平 (愛知) 64,781 票 (2.0%)

竹内信昭 (福岡) 55,017 票 (2.5%)

社民党は、比例 250 万票、現職 2 議席確保に向けて全力で闘いました。

「厳しい選挙であったが、安倍政治の暴走にストップをかけ、平和・民主主義・暮らしを守るための選挙に全力をあげた。比例区は福島みずほ、選挙区は小西ひろゆき。安倍首相の野望とも言える改憲を阻止し、子どもや若い人に平和の時代を手渡したいという市民とも力強く連帯し闘った」(社民党千葉県連合 小宮清子代表)

●比例票と得票率は増やす 福島みずほ、小西ひろゆきは当選

社民党の選挙結果は、比例代表では前回 (2013 年) の 125 万 5 千票を上回る 153 万 5311 票。得票率も前回の 2.4% から 2.7% に伸ばすことが出来ました



小宮清子
千葉県議

阿部治正
流山市議



(流山市では 3.7%)。比例代表の福島みずほ副党首の 4 選を果たし、千葉選挙区で支持・応援した護憲派の小西ひろゆきさんも再選を果たしました。

●参院選から教訓を汲み出し、党の強化を実現します

選挙の結果、改憲勢力の 3 分の 2 が現実となってしまいました。自民党はじめ改憲勢力は、「現実に憲法が合わなくなった」と宣伝し、「お試し改憲」を含めた憲法改悪の流れが強まることと予想されます。社民党は、この選挙で繋がった人々としっかりと連携しながら、地域から党のちからを更に強化して、平和と暮らしを傷つける政治をただす闘いに取り組みます。

社民党

流山市平和台 2-4-3
広葉ビル 201
社会民主党流山支部